

第 46 回全日本バトンワーリング選手権九州大会  
第 2 回全日本バトンワーリングジュニア選手権九州大会  
第 48 回初級バトンコンテスト  
第 42 回中級バトンコンテスト  
第 29 回規定バトンコンテスト

(同時進行)

## 基本実施要項

### 実施規定



日本バトン協会 九州支部

# 大会概要

- 主 旨 本大会は、一般社団法人日本バトン協会の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、我が国のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」の精神のもとに九州各地からバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深め、スポーツ精神の高揚を図ると共に、我が国のスポーツ文化の発展に貢献するものです。
- 大会名称 第46回 全日本バトントワーリング選手権九州大会  
第2回 全日本バトントワーリングジュニア選手権九州大会  
第48回 初級バトンコンテスト  
第42回 中級バトンコンテスト  
第29回 規定バトンコンテスト
- 開催日時 2021年2月13日(土)・2月14日(日) 9:00 開場 9:30 開会式(予定)  
全日本選手権大会、ジュニア選手権大会  
初級、中級、規定 (ビデオ審査)
- 開催会場 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)  
〒890-0023 鹿児島県鹿児島市永吉1-30-1  
TEL 099 (285) 2244
- 主 催 日本バトン協会九州支部
- 主 管 鹿児島県バトン協会
- 後 援 鹿児島県、鹿児島市教育委員会、南日本新聞社、MBC 南日本放送、NHK 鹿児島放送局  
KKB 鹿児島放送、KYT 鹿児島読売テレビ、KTS 鹿児島テレビ  
鹿児島マーチングバンド連盟、鹿児島市スポーツ振興協会

# 各種申し込みについて

## 参加申し込み

\*出場者は、九州支部ホームページよりダウンロードした「大会申込書」に必要事項を入力し、登録団体ごとにまとめ、大会事務局まで申し込んで下さい。（申込書式入力説明書参照）

\*参加諸費用は指定口座へ振り込んで下さい。

\*申込書には、2020年度の構成員登録番号を記載して申し込みをすること。（申請中は認められません）

\*全ての申込締め切り日 2020年12月18日(金)(必着)

## 【1】参加費

### ◆第46回 全日本バトントワーリング選手権九州大会

★ソロトワール	1名	¥ 5,000
★トゥーバトン	1名	¥ 5,000
★スリーバトン	1名	¥ 5,000
★ペ ア	1組	¥ 8,000
★ソロストラット	1名	¥ 5,000
★ダンストワール	1名	¥ 5,000

### ◆第2回 全日本バトントワーリングジュニア選手権九州大会

★ソロトワール	1名	¥ 5,000
★トゥーバトン	1名	¥ 5,000
★スリーバトン	1名	¥ 5,000
★ペ ア	1組	¥ 8,000
★ソロストラット	1名	¥ 5,000
★ダンストワール	1名	¥ 5,000

### ◆第48回 初級バトンコンテスト

★ソロトワール	1名	¥ 2,000
★ペ ア	1組	¥ 3,000

### ◆第42回 中級バトンコンテスト

★ソロトワール	1名	¥ 3,000
★ダンストワール	1名	¥ 3,000
★ペ ア	1組	¥ 4,000

### ◆第29回 規定バトンコンテスト

★ソロトワール	1名	¥ 3,000
---------	----	---------

本年度はビデオ審査を行います。

## 【2】入場券について

\*本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、無観客での大会開催となるため、入場券の販売はございません。

## 【3】写真及びDVD撮影販売及び二次使用について

- \*演技中の写真撮影及びビデオ撮影は禁止とする。
- \*写真及びDVDの撮影販売は、当協会指定業者が行う。
- \*写真及びDVDの著作権は、日本バトン協会九州支部に帰属する。
- \*二次使用については、該当団体の承諾のもと使用することとする。

## 【4】広告協賛

大会の主旨にご理解ご賛同を賜り、1口¥5,000（名称のみ掲載）のプログラム広告協賛をお願い致します。

\*プログラム（A4版・2000部印刷予定）

★ホームページからダウンロードした申込み様式に必要事項を入力し、メール送信で申し込んで下さい。

★初級、中級、規定コンテストのビデオ審査に関する録画要領、提出期限については後日お知らせいたします。

★参加諸費用については、下記郵便局口座へ振り込んで下さい。

★全ての申込み、振込は2020年12月18日（金）（必着）

### ■提出書類送付先

大会事務局 日本バトン協会九州支部  
〒811-1352 福岡県福岡市南区鶴田 3-14-4  
白浜 恵美  
携帯：080-8370-4296  
メール送信先 別紙申込書式入力説明書参照

### ■「参加諸費用」郵便局振込口座

記号：17170 番号：3821961  
名前：日本バトン協会九州支部

## 【5】 傷害保険について

\*当協会にて、出場者・係員を対象に傷害保険に加入する。

\*補償内容は「大会当日の会場到着から会場出発まで」とする。会場までの移動や宿泊中の傷害保険については、各団体が任意でご加入下さい。

## 【6】 お弁当申込みについて

弁当が必要な団体は、団体ごとにまとめて申し込んで下さい。

※最終的な「大会スケジュール」及び「注意事項」等につきましては、大会2週間前に出場団体代表者宛にお知らせします。

## ■種 目

◆第46回 全日本バトントワーリング選手権九州大会

◆第2回 全日本バトントワーリングジュニア選手権九州大会 (同時進行)

### ★ソロトワール

全日本選手権	女子 シニアⅠ	女子 シニアⅡ	男子 シニア			
ジュニア選手権	女子 アンダー ジュニアⅠ	女子 アンダー ジュニアⅡ	女子 ジュニアⅠ	女子 ジュニアⅡ	男子 アンダー ジュニア	男子 ジュニア

### ★トゥーバトン

### ★スリーバトン

全日本選手権	女子 シニアⅠ	女子 シニアⅡ	男子 シニア		
ジュニア選手権	女子 アンダー ジュニア	女子 ジュニアⅠ	女子 ジュニアⅡ	男子 アンダー ジュニア	男子 ジュニア

### ★ペ ア

### ★ソロストラット

### ★ダンストワール

全日本選手権	シニアⅠ	シニアⅡ	
ジュニア選手権	アンダー ジュニア	ジュニアⅠ	ジュニアⅡ

#### ◆第48回 初級バトンコンテスト

- ★ソロトワール プライマリー・ジュニア・シニア
- ★ペア プライマリー・ジュニア・シニア

#### ◆第42回 中級バトンコンテスト

- ★ソロトワール プライマリー・ジュニア・シニア
- ★ダンストワール プライマリー・ジュニア・シニア
- ★ペア プライマリー・ジュニア・シニア

#### ◆第29回 規定バトンコンテスト

- ★ソロトワール ジュニア・シニア

### ■出場資格

- (1) 出場者は申し込み時までに、一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 2020年12月18日(金)【期日厳守】までに所定の参加手続きを終えていること。
- (3) 参加に要する各出場者個々の経費は、各出場者の負担とする。
- (4) 一度納入された参加費は、原則として払い戻しはしない。

### ■その他

- ① 演技順は大会実行委員会にて決定する。
- ② ボール、ティップは新品を使用すること。  
シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度な錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。
- ③ 出場者は2020年度構成員ワッペンを着装し、入館すること。
- ④ 選手権6種目課題曲CDの販売に関しては、一般社団法人日本バトン協会ホームページを確認しお申し込み下さい。
- ⑤ 初級・中級・規定の課題曲については、各県バトン協会事務局へお申し込み下さい。
- ⑥ その他詳細は二次案内でお知らせします。

第46回全日本バトントワーリング選手権九州大会 (同時進行)  
 第2回全日本バトントワーリングジュニア選手権九州大会

**支部別出場枠数** **※各大会で適用する**

- ①支部別出場割当枠は過去の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
- ②前年度の各部門1位受賞者登録支部に優勝枠として1枠追加は、今大会は無しとする。
- ③主管支部は開催地枠として1枠追加する。
- ④支部大会の実情に合わせ、総割当枠は種目毎に自由に分割することができる。  
 但し、1部門7枠までを上限とする。
- ⑤選手エントリーが規定枠に満たず使用できなかった枠は、他種目へ振り替えることができる。但し、3枠を上限とし、1部門2枠までとする。
- ⑥部門別出場枠は理事会で協議し割り振ることとする。
- ⑦決定した割当枠は、2021年1月18日(月)までに一般社団法人日本バトン協会へ提出すること。

**第46回全日本バトントワーリング選手権大会推薦枠**

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
ソロトワール	6	5	16	7	14	21	8	2	12	1	92
トゥーバトン	2	4	10	4	11	13	5	1	9	1	60
スリーバトン	3	2	8	1	8	13	6	1	9	1	52
ペア	3	2	13	2	9	11	6	1	6	1	54
ソロストラット	4	5	14	3	8	11	5	2	8	1	61
ダンストワール	3	4	13	3	13	12	4	2	8	1	63
	21	22	74	20	63	81	34	9	52	6	382

**第2回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会推薦枠**

	北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
ソロトワール	11	13	27	20	29	33	20	7	33	7	200
トゥーバトン	6	7	16	9	16	19	12	5	22	4	116
スリーバトン	4	3	14	1	8	12	7	1	15	2	67
ペア	4	8	14	7	11	10	9	3	15	3	84
ソロストラット	5	8	14	9	12	14	7	2	15	3	89
ダンストワール	6	9	14	8	13	9	8	3	17	3	90
	36	48	99	54	89	97	63	21	117	22	646

第46回全日本バトントワーリング選手権九州大会 (同時進行)  
第2回全日本バトントワーリングジュニア選手権九州大会

**実施規定**

**6種目共通規定**

(1) 出場資格及び参加申込み

- ① 選手は、2020年度に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程及び構成員登録規定に準ずる。
- ② 複数種目出場選手は同一団体から申し込むこと。尚、③の場合を除く。  
※複数の支部での参加は認めない。
- ③ ペアのメンバーは、支部内の複合を認める。尚、どちらの団体から出場するかは任意とする。
- ④ 同一選手の出場は6種目の中から2種目までとする。  
※ジュニアの選手がシニアⅠ・シニアⅡ部門の選手とペアを組む場合は、第46回全日本バトントワーリング選手権九州大会を含め2種目までとする。
- ⑤ 支部別出場割り当て枠数は、別ページに掲げる通りとする。
- ⑥ 参加申込書及び参加費を、**2020年12月18日(金) [必着]**までに大会事務局へ提出・指定口座へ納入すること。
- ⑦ 期日までに参加申込書が大会事務局へ送信され参加費が指定口座へ納入されない限り大会参加は認めない。選手権大会の申込において、締め切り後の変更は一切認めない。
- ⑧ 参加に要する個々の経費は、各選手の負担とする。一度納入された参加費は、原則として払い戻しはしない。
- ⑨ 九州大会より推薦された選手は、全日本選手権大会出場を原則とする。  
各選手権大会出場者は九州大会終了後、2021年2月17日(水)14時までに本部大会事務局へ出場手続きを行なうこと。

※(1) 出場資格及び参加申込みに反した場合は、嚴重注意とする。

※大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

## (2) 部門

※生年月日は下記の通りとする

### 第46回全日本バトントワーリング選手権九州大会

#### 【ソロトワール】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子シニア I	2000年1月1日	～	2003年12月31日
②	女子シニア II		～	1999年12月31日
③	男子シニア		～	2003年12月31日

#### 【トゥーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子シニア I	2000年1月1日	～	2003年12月31日
②	女子シニア II		～	1999年12月31日
③	男子シニア		～	2003年12月31日

#### 【スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子シニア I	2000年1月1日	～	2003年12月31日
②	女子シニア II		～	1999年12月31日
③	男子シニア		～	2003年12月31日

#### 【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

①	シニア I	2000年1月1日	～	2003年12月31日
②	シニア II		～	1999年12月31日

※ 性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とする。

ジュニア I・IIとの組み合わせも可。

※ 補欠は認めない。

#### 【ソロストラット】

(1) 部門は次の通りとする。

①	シニア I	2000年1月1日	～	2003年12月31日
②	シニア II		～	1999年12月31日

※ 性別区分は行わない。

#### 【ダンストワール】

(1) 部門は次の通りとする。

①	シニア I	2000年1月1日	～	2003年12月31日
②	シニア II		～	1999年12月31日

※ 性別区分は行わない。

## 第2回全日本バトントワーリングジュニア選手権九州大会

### 【ソロトワール】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子アンダージュニア I	2012年1月1日	～	2014年4月1日
②	女子アンダージュニア II	2009年4月2日	～	2011年12月31日
③	女子ジュニア I	2007年1月1日	～	2009年4月1日
④	女子ジュニア II	2004年1月1日	～	2006年12月31日
⑤	男子アンダージュニア	2009年4月2日	～	2014年4月1日
⑥	男子ジュニア	2004年1月1日	～	2009年4月1日

### 【トゥーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子アンダージュニア	2009年4月2日	～	2014年4月1日
②	女子ジュニア I	2007年1月1日	～	2009年4月1日
③	女子ジュニア II	2004年1月1日	～	2006年12月31日
④	男子アンダージュニア	2009年4月2日	～	2014年4月1日
⑤	男子ジュニア	2004年1月1日	～	2009年4月1日

### 【スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

①	女子アンダージュニア	2009年4月2日	～	2014年4月1日
②	女子ジュニア I	2007年1月1日	～	2009年4月1日
③	女子ジュニア II	2004年1月1日	～	2006年12月31日
④	男子アンダージュニア	2009年4月2日	～	2014年4月1日
⑤	男子ジュニア	2004年1月1日	～	2009年4月1日

### 【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

①	アンダージュニア	2009年4月2日	～	2014年4月1日
②	ジュニア I	2007年1月1日	～	2009年4月1日
③	ジュニア II	2004年1月1日	～	2006年12月31日

※性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とする。

※補欠は認めない。

### 【ソロストラット】

(1) 部門は次の通りとする。

①	アンダージュニア	2009年4月2日	～	2014年4月1日
②	ジュニア I	2007年1月1日	～	2009年4月1日
③	ジュニア II	2004年1月1日	～	2006年12月31日

※性別区分は行わない。

### 【ダンストワール】

(1) 部門は次の通りとする。

①	アンダージュニア	2009年4月2日	～	2014年4月1日
②	ジュニア I	2007年1月1日	～	2009年4月1日
③	ジュニア II	2004年1月1日	～	2006年12月31日

※性別区分は行わない。

### (3) 演技順

- ① 演技順は、大会実行委員会にて決定する。
- ② 2種目出場の手順で、セット番号の変更については10番以内とし、大会実行委員会（事務局）で決定する。
- ③ 準決勝・決勝の演技順は、準々決勝と準決勝の演技順とし、2種目重複選手を考慮し、大会実行委員会にて決定する。

### (4) 表彰

- ① 各部門共10位までを入賞とし、1位～6位に賞状及び副賞、7位～10位に賞状を授与する。
- ② 出場者全員に参加賞を配布する。
- ③ 各種目各部門の全日本選手権大会並びに全日本ジュニア選手権大会出場者には推薦状を授与する。

### (5) 競技におけるアクシデント

- ① 大会期間中のアクシデント（体調不良・怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、団体責任者・選手・審査委員長・実行委員長（大会役員）が協議し決定をする。
- ② 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は演技をした所までを採点対象とする。
- ③ 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。競技フロアにいない場合は棄権とみなす。

### (6) 大会における肖像権について

- ① 選手は肖像権を日本バトン協会九州支部へ譲渡するものとする。
- ② 申込時に、写真及びビデオ撮影についての「回答書」を提出すること。「回答書」の提出がない場合は承諾したものとする。

### (7) その他

- ① 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。
- ② 大会の主旨に反する行為を行った場合、嚴重注意とする。
- ③ 災害や感染症などの緊急事態状況の大会開催は、日本バトン協会九州支部が総合的に判断し、延期または中止とする場合がある。

### ◆全日本選手権大会・全日本ジュニア選手権大会へ推薦された場合

- ① 大会終了後、直ちに大会本部へ推薦状を取りに来て下さい。
- ② 大会終了後、2021年2月17日（水）14時までに団体ごとに全日本選手権大会の大会事務局へ所定の申込みを行って下さい。

● ソロトワール

(1) 競技規定

- ① 人数 …… 1名
- ② 使用するバトン …… レギュラーバトン 1本
- ③ 競技フロア …… 縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲 (時間) …… Solo Special (約1分45秒)
- ⑤ 内容 …… 1本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ア) インTRODクシヨン (オープニングサリュートは自由)
- イ) 3モード
 

エーリアル	[バーティカル・フラット・(ホリゾンタル)]
ロール	[バーティカル・フラット・(ホリゾンタル)]
コンタクト マテリアル	[バーティカル・フラット・(ホリゾンタル)]
- ウ) エンディング (エンディングサリュートは自由)

※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

- ⑥ リストリクシヨン …… 対象：ジュニア選手権

(技の制限) 女子アンダージュニア I、女子アンダージュニア II、男子アンダージュニア  
エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック  
空中動作を禁止

- ⑦ コスチューム

[女子] レオタード (袖の有無自由)、装飾、髪飾り自由、足首までのソックスまたは肌色のタイツ  
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由  
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること  
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する

(2) 審査規定

- ① 内容

ア) バラエティー

・3モードのバランス/両手使い

イ) ディフィカルティー

・バトンとボディの困難度/リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、  
コネクション

- ② 実施

ア) テクニック

・バトンの正確さ/ボディワークの正確さ/バトンの熟練度・質/  
ボディワークの熟練度・質/リズム・タイミングのコントロール

イ) パフォーマンス&エクスペリション

・プロジェクション (意気込み) /ダイナミックさ/持続性 (忍耐力とスタミナ) /  
自信のある演技/リカバリー能力/観客や審査員に対しての一体感

ウ) スピード

・バトンの一貫したスピード/スピードコントロール

- ③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ア) ドロップ 1本につき0.1点減点

イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点

ウ) アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点

(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)

エ) リストリクシヨン (ジュニア選手権、対象部門のみ)

1回につき0.2点減点

## ● トゥーバトン

### (1) 競技規定

- ① 人数 . . . . . 1名
- ② 使用するバトン . . . . . レギュラーバトン2本
- ③ 競技フロア . . . . . 縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲 (時間) . . . . . Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- ⑤ 内容 . . . . . 2本のバトンを使って技術を競う。

**ルーティーン構成** 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ア) コンタクト マテリアル (2本のバトンを身体の近くで行うトワール)
- イ) ロール (両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ)
- ウ) ハイ ロー (空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエアリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ)
- エ) ダブル トス トリック (2本同時に空中ヘトス)
- オ) ジャグル (片手で連続的なリリースとキャッチ。例:片手で2本のバトンを交互にトス)
- カ) シャワー (両手で連続的なリリースとキャッチ。例:1本のバトンをトスしている間にもう1本をパスして最初のバトンをキャッチ)
- キ) コンプレックス トリック (複雑なトリック・リリース・レセプション)
- ⑥ リストリクション . . . . . 対象: ジュニア選手権 女子アンダージュニア、男子アンダージュニア  
(技の制限) エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- ⑦ コスチューム  
[女子]レオタード (袖の有無自由)、装飾、髪飾り自由、足首までのソックスまたは肌色のタイツ  
[男子]トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由  
[共通]シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること  
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する

### (2) 審査規定

- ① 内容
  - ア) バラエティー  
・コンタクト マテリアル/ロール/ハイ ロー/ダブル トス トリック/ジャグル/  
シャワー/コンプレックス トリック
  - イ) ディフィカルティー  
・バトンとボディワークの困難度/リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、  
コネクション
- ② 実施
  - ア) テクニック  
・バトンの正確さ/ボディワークの正確さ/トゥーバトンの熟練度・質/  
ボディワークの熟練度・質/リズム・タイミングのコントロール
  - イ) パフォーマンス&エクスペッション  
・プロジェクション (意気込み) /ダイナミックさ/持続性 (忍耐力とスタミナ) /  
自信のある演技/リカバリー能力/観客や審査員に対する一体感
  - ウ) スピード  
・バトンの一貫したスピード/スピードコントロール
- ③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。
  - ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
  - イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
  - ウ) アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点  
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
  - エ) リストリクション (ジュニア選手権、対象部門のみ)  
1回につき0.2点減点

## ●スリーバトン

### (1) 競技規定

- ① 人数 …… 1名
- ② 使用するバトン …… レギュラーバトン3本
- ③ 競技フロア …… 縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲(時間) …… Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- ⑤ 内容 …… 3本のバトンを使って技術を競う。

**ルーティーン構成** 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ア) カスケード (左右交互に行われるリリースとキャッチ)
  - イ) シャワー (両手による継続的なリリースとキャッチ)
  - ウ) ジャグル (片手による継続的なリリースとキャッチ)
  - エ) ダブルトスーシングルトス  
(2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする)
  - オ) ハイ ロー (高いエアリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと)
  - カ) スタックス (高いエアリアルの下に低いエアリアルを投げあげ、その下でコンタクトマテリアルを行う)
  - キ) トリプルトス (最初のトスをレセプションする前に、1本ずつすべて順番にリリースするもの。  
または、3本のバトンすべてを同時にリリースするもの)
- ⑥ リストリクション …… 対象：ジュニア選手権 女子アンダージュニア、男子アンダージュニア  
(技の制限) エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- ⑦ コスチューム  
[女子] レオタード(袖の有無自由)、装飾、髪飾り自由、足首までのソックスまたは肌色のタイツ  
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由  
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること  
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する

### (2) 審査規定

- ① 内容
  - ア) バラエティー  
・シークエンスの広がりと変化、それらのミックス/両手使い/コンタクト マテリアル、ロール/パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
  - イ) デイフィカルティー  
・密度/リリース、レセプションの困難度/リスク/エアリアル
- ② 実施
  - ア) テクニック  
・バトンの精密さ、安定感/コレクション/リズム、タイミングのコントロール/バトンとボディのブレンド及びスピード/フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ
  - イ) パフォーマンス&エクスペッション  
・エンターテインメント性/持続力&スタミナ/自信のある演技/リカバリー能力
  - ウ) デマンド  
・継続性/同時責任性/ビジュアルトラッキング/空間構成能力
- ③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。
  - ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
  - イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
  - ウ) アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点  
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
  - エ) リストリクション (ジュニア選手権、対象部門のみ)  
1回につき0.2点減点

## ●ペア

### (1) 競技規定

- ① 人数 …… 2名
- ② 使用するバトン …… レギュラーバトン2本 (各1本)
- ③ 競技フロア …… 縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲 (時間) …… Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- ⑤ 内容 …… 二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う。

**ルーティーン構成** 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

ア) ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。

※二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある。

- ⑥ リストリクション …… 対象：ジュニア選手権 アンダージュニア  
(技の制限) エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- ⑦ コスチューム  
[女子] レオタード (袖の有無自由)、装飾、髪飾り自由、足首までのソックスまたは肌色のタイツ  
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由  
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること  
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する

### (2) 審査規定

- ① 内容  
ア) バラエティー  
・3モードのバランス/エクステンジ/ペアワーク/フロアパターン  
イ) ディフィカルティー  
・バトンとボディワークの困難度/シンクロナイズーションの困難度/  
コーディネーションの困難度
- ② 実施  
ア) テクニック  
・バトンの正確さ/ボディワークの正確さ/バトンの熟練度・質/  
ボディワークの熟練度・質/ペアのコントロール/リズム・タイミングのコントロール  
イ) パフォーマンス&エクスペッション  
・ペアとしての責任/プロジェクション(意気込み)/持続性(忍耐力とスタミナ) /  
自信のある演技/リカバリー能力  
ウ) スピード  
・バトンの一貫したスピード/2人の統一したスピード
- ③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。  
ア) ドロップ 1本につき0.1点減点  
イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点  
ウ) アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点  
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)  
エ) リストリクション (ジュニア選手権、対象部門のみ)  
1回につき0.2点減点

## ● ソロストラット

### (1) 競技規定

- ① 人数 …… 1名
- ② 使用するバトン …… レギュラーバトン1本
- ③ 競技フロア …… 縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲(時間) …… 栄光へのマーチ(約1分30秒)
- ⑤ 内容 …… マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

**ルーティーン構成** 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

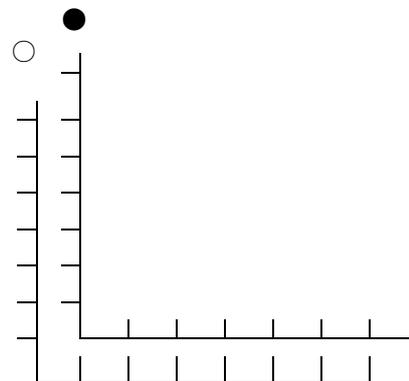
ア) イントロダクション 8拍

- ・ 振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作  
(アテンション・サリュート等)

イ) ミリタリーストラット(ダブルL字ストラット) 32拍

- ・ 足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット(腿は、床と平行になる)  
で8拍前進、8歩目(右足)を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目(左足)を踏み出すと同時に左足を軸にして、右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目(左足)を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。

FM8 (LS ON8)  
FM8 (TTR ON7)  
FM8 (RS ON7)  
FM8 (H ON8)



**審査員席**

- ・ 右手は、ビートタイム(拍子をとる)[指揮杖でバンドを指揮するような動作]
- ・ 左手は、指を揃えて左腰におく。
- ・ 足は、ベーシックストラット。
- ・ 背中はずっと正面(進行方向)を向く、顔は引き締める。

ウ) プレゼンテーション 32拍

- ・ 自由に表現できるセクション。

エ) フォワードモーション 96拍

- ・ ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション。
- ・ 奇数は左足、偶数は右足でステップする
- ・ 両脚は1拍までとする
- ・ ダブルイリュージョンは踏みかえること

オ) エンディング 16拍

- ・ 全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

- ⑥ リストリクション・・・対象：ジュニア選手権 アンダージュニア  
 (技の制限) エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- ⑦ コスチューム  
 [女子]レオタード(袖の有無自由)、装飾、髪飾り自由、足首までのソックスまたは肌色のタイツ  
 [男子]トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由  
 [共通]シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること  
 ※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する

## (2) 審査規定

### ① 内容

- ア) イントロダクション・ミリタリーストラット  
 ・ビートタイム/ミリタリースタイル/ベーシックストラット
- イ) プレゼンテーション・エンディング  
 ・バトンとボディのバラエティー/バトンとボディのディフィカルティー/  
 バトンとボディのオリジナリティー
- ウ) フォワードモーション  
 ・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー/  
 バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー/フロアデザイン

### ② 実施

- ア) テクニック  
 ・バトンとボディの調和と正確さ/シャープさ、柔軟性、優雅さ/リズムの取り方/  
 ボディコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション  
 ・パレードを先導する演技/アピール性、自信/リカバリー能力
- ウ) アウトオブステップ  
 ・フォワードモーションにおける足踏みの誤り

### ③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点  
 (サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- エ) リストリクション (ジュニア選手権、対象部門のみ)  
 1回につき0.2点減点

## ●ダンストワール

### (1) 競技規定

- ① 人数 …… 1名
- ② 使用するバトン …… レギュラーバトン1本
- ③ 競技フロア …… 縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） …… 輝きの時（約1分34秒）
- ⑤ 内容 …… バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う。

**ルーティーン構成** 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

ア) 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。

- ⑥ リストリクション …… 対象：ジュニア選手権 アンダージュニア  
（技の制限） エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止

### ⑦ コスチューム

[男女共通]自由 装飾、髪飾り自由

帽子の脱着やコスチュームの一部が身体から完全に離れるような脱着は不可。

シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること

※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する

### (2) 審査規定

#### ① 内容

ア) コレオグラフィ

・バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成、振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方、ステージング

イ) バトンとダンスワークのブレンド

・バトンのバラエティー・ディフィカルティー／  
ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー／  
バトンとダンスのコンビネーション／  
シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

#### ② 実施

ア) テクニック

・バトンとボディの正確さ、明確さ／動きの熟練度、質／リズム、タイミング／  
音楽との関わり、調和／ダンススキルの質／ボディコントロール

イ) パフォーマンス&エクスペッション

・ショーマンシップ、エンターテインメント性／自信

#### ③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ア) ドロップ 1本につき0.1点減点

イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点

ウ) アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点

（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない）

エ) リストリクション（ジュニア選手権、対象部門のみ）

1回につき0.2点減点

(1) 全種目共通

- ① ボールとティップは新しいものを使用すること。競技前にバトンのチェックを行う。
- ② バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ③ バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- ④ 競技フロアヘタオル・パウダーなどバトン以外を持ち込んで서는ならない。
- ⑤ 怪我のための包帯等は可。
- ⑥ 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- ⑦ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑧ スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い、装飾（顔に模様を描く等）は禁止する。

※ボール、ティップは新品を使用のこと。

シャフトの錆については、各団体の責任において安全性を確認の上使用すること、但し過度な錆の場合、大会本部において使用不可とする場合がある。

順位規定

6 種目別規定

(1) 審査

- ① 審査委員長・審査員の人数ならびに役割は次の通りとする。
  - ア) 審査委員長は1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
  - イ) 審査員は準々決勝2名～3名、準決勝5名、決勝5名とする。
  - ウ) ペナルティ審査員は準決勝・決勝1名とする。
- ② 準々決勝、準決勝、決勝については次の通りとする。
  - ア) 各部門共準決勝及び決勝を行う。但し出場者数により準決勝を行わず決勝を行う場合がある。
  - イ) 出場者数により準々決勝を行う場合があり、準々決勝に同点がでた場合は同位として次位を空位とする。また20位までは同位者がでた場合、準決勝に進出できる。
  - ウ) 準決勝に席次同点がでた場合は同位とし次位を空位とする。また10位までは同位者がでた場合、決勝に進出できる。

(2) 順位

- ① 順位の決定
  - ア) 準々決勝は審査員が10点法（小数点第2位まで）により採点し、点数合計とする。
  - イ) 準決勝・決勝は、審査員の評点（10点法小数点第2位まで）から、ペナルティを差引き審査員の得点とする。
  - ウ) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。

※準決勝を棄権した場合は棄権とし、決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。
- ② 各部門共準決勝・決勝の成績により順位を決定する。但し、席次同点者がでた場合は、同位者のみ次の手順に従って順位を決定する。
  - 優先順1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
  - 優先順2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
  - 優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。

上記1～3の方法によっても同点同席次になった場合は同位とし次位を空位とする。
- ③ 全日本出場枠に関する同点がでた場合は、再演技を行って決定する。

# 第 48 回初級バトンコンテスト

# 実施規定

【主 旨】 バトントワーリングの基礎能力育成と底辺拡大の為に、初級のグレードコンテストとして子どもたちに参加する場を設けることを目的として開催。

【参加規定】 出場者は大会申し込み時に、一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。また、ペア種目の2名は同一団体の構成員に限る。申込書には、2020 年度の構成員登録番号を記載して申し込みをすること。（申請中は認められません）

種 目	ソロトワール	ペ ア
部 門	＊プライマリー・・・・・・未 就 学 ＊ジュニア・・・・・・小・中学生 ＊シニア・・・・・・高校生以上	
曲 目 時 間	<u>Elementary solo</u> (1分)	<u>For the glory</u> (栄光に向かって) (1分)
規 定 及 び 人 数	オープニングサリュート前奏8拍内を行う エンディングサリュートを行う。	オープニングサリュートを 前奏8拍内を行う エンディングサリュート を行う。
課 題	6級～3級の範囲より、ロール・エーリアル・コンタクト マテリアルの中のフィンガーを必ずルーティーンの中に組み入れること。さらに、ペアはエクステンジを必ず1回組み入れること。（デットスティックでも可）	
審 査	審査員 1名 (100点)	審査員 1名 (100点)
審 査 内 容	リズム・パターン・ショーマンシップ・一定のスピード・滑らかさ・正確さ 課題のチェック・2人のリズムを合わせる（ペアのみ）	
重 要 点	リズム・パターンに気をつけた、初級のルーティーン。	
評 価	＊70点以上・・・・優秀賞 ＊70点未満・・・・優良賞 ※課題以外の構成については、60点以下となる。 (例：1スピン等)	
表 彰	参加者全員に各賞の賞状を授与する。	
衣 装	レオタードを基本とし、あまり華美な装飾はつけない。	

## 第 42 回 中級バトンコンテスト

## 実施規定

【主 旨】初級から更に正確にグレードアップしたものにチャレンジできるように設けたコンテストであり、選手権大会出場へと繋げて行くために開催。

【参加規定】出場者は大会申し込み時に、一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。また、ペア種目の2名は同一団体の構成員に限る。申込書には、2020 年度の構成員登録番号を記載して申し込みをすること。（申請中は認められません）

種 目	ソロトワール	ダンストワール	ペ ア
部 門	＊プライマリー・・・・未 就 学 ＊ジュニア・・・・・・小・中学生 ＊シニア・・・・・・高校生以上		
曲 目 時 間	<u>Amarch of friendship</u> <u>(友情のマーチ)</u> <u>(1分)</u>	<u>Intermediate dance</u> <u>(1分)</u>	<u>For the glory</u> <u>(栄光に向かって)</u> <u>(1分)</u>
規 定 及 び 人 数	オープニングサリュート を前奏8拍内で行う。 エンディングサリュート を行う。	定められたコートを十分 に使って行う。	オープニングサリュート を前奏8拍内で行う。 エンディングサリュート を行う。
課 題	6級～1級の範囲より、ロール・エーリアル・コンタクト マテリアルの中にフィンガーを必ずルーティーンの中に組み入れること。 さらに、ペアはエクスチェンジを必ず3回組み入れること。		
審 査	審査員 1名 (100点)	審査員 1名 (100点)	審査員 1名 (100点)
審 査 内 容	リズム・パターン・ショーマンシップ・一定のスピード(ソロ・ペアのみ) 滑らかさ・正確さ(バトン&ボディワーク)・課題のチェック・ペアワーク (ペアのみ)		
重 要 点	正確なトワールを心がけた、中級のルーティーン。		
評 価	＊80点以上・・・・金賞 ＊70点以上・・・・銀賞 ＊70点未満・・・・銅賞 ※課題以外の構成については60点以下となる。 (例：トス+リユージョン、3S等)		
表 彰	参加者全員に各賞の賞状を授与する。		
衣 装	レオタードを基本とし、あまり華美な装飾は付けない。		

## 第 29 回規定バトンコンテスト

## 実施規定

【主 旨】 バトンタワーリングの基礎を確実に身に付ける為の、規定のバトンコンテストとして開催。

【参加規定】 出場者は大会申し込み時に、一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。  
申込書には、2020 年度の構成員登録番号を記載して申し込みをすること。（申請中は認められません）

種 目	ソ ロ ト ワ ー ル
部 門	ジュニア・・・中学生以下 シニア・・・高校生以上
曲 目 時 間	<u>グランドマーチ</u> <u>(1分)</u>
規 定	オープニングサリュートを行う。 エンディングサリュートを行う。
課 題	ニーアップストラット・コンタクトマテリアル ロール～フリップセクション・フラットセクション エンディング
審 査	審 査 員 1 名
審 査 内 容	リズム・パターン・なめらかさ・ショーマンシップ 正確さ（バトン&ボディワーク）
評 価	* 5～10…金 賞      但し C+ 及び C が入れれば銀賞 * 11～20…銀 賞      * 21～30…銅 賞
表 彰	参加者全員に各賞の賞状を授与する。
衣 装	レオタードを基本に、あまり華美にならない装飾とする。

## 規定ルーティーン構成範囲

フィギュア・エイト (RH・LH)      フロント・トゥー・ハンドB  
 リバース・エイト (RH・LH)      フラット・リスト・トワール  
 RHリバース・エイト・フローリッシュ      レッグ・パス      バック・パス  
 ネット・ラップ      エンド・スウィング・ターン・アンダー      バック・キャッチ  
 エイト&4フィンガー (RH)      LHフラット・エイト  
 フロント・トゥー・ハンド・アンダー・レッグ      サムフリップ (RH・LH)  
 LHリバース・フラット・トス      RHフラット・トス  
 RHフラット・2フィンガー・リバースエイト  
 LHEルボー・リスト・ダブルロール      リバース・カートウィール・フリップ

<フットワーク>

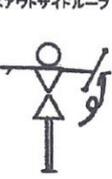
ニーアップ・ストラット      ポイント      プリエ      ルルベ      ランジ

ストレートキック      トゥーステップ      スプリットジャンプ      1スピン (左回り)

### 【 規定バトンコンテスト 審査基準 】

	A+	A	B+	B	C+	C
ニーアップ・ストラット	1	2	3	4	5	6
コンタクトマテリアル	1	2	3	4	5	6
ロール～フリップ	1	2	3	4	5	6
フラットセクション	1	2	3	4	5	6
エンディング	1	2	3	4	5	6

<トータルポイント>      5 ～ 10 …… 金賞 (但し、C+及びCが入れば銀賞)  
                                  11 ～ 20 …… 銀賞  
                                  21 ～ 30 …… 銅賞

	1	2	3	4	5	6	7	8
イントロ	 LFP				 サリュート 6番		 右向きになる	
8	 R		右へ向かって、左足からニーアップストラットで前進					 正面を向く
8			左足から その場でニーアップストラットをする				両手は胸の前	
8	 RHフィギュアエイト 外側から3回	バトンをスライドさせてエンドスウィングターンアンダー			 R2番ランジ	 ルルベ		 右手は左ひじ下へ
8	 LHフィギュアエイト 内側から4回 右手は横に伸ばす	R4番ランジ		 バックパス 6番		 RHサムフリップ		
8	 RHリバースエイト 外側から2回	 RHアウトサイドループ	 L1歩前へ	 ストラドルパス	 LHリバースアウトサイドループ	 両手は胸の前		
8	フロントトゥーハンドアンダーレッグス				エイト&フォーフィンガー(RH)		右足プリエ 左足斜めでひざを伸ばす	
	 右足上から	 6番	 左足	 6番				

規定パトンコンテスト

No. 2

	1	2	3	4	5	6	7	8	
8	LHエルボーリストダブルロール		レッグパス (LH~RH)		RHリストエルボーダブルロール~LHキャッチ				
8									
			R2番ランジ				L4番ランジ		
8	リバースカートウィールフリップ				リバースカートウィールフリップ~アンダーレッグキャッチ				
8									
	6番	LFP	6番	RFP		左足上		右足上	
8	後向きでLHサムフリップ~RHキャッチ		前向きでRHサムフリップ~LHキャッチ		手のひらは内向き			バックキャッチ	
8									
	R3番ルルベ		Lターン ~L3番		LFP				
8	フラットリスト		RHフラットトゥーフインガーリバースエイト						
8									
	左足トゥーステップ		右足トゥーステップ		R2番ランジ		6番	左足を右足にそろえる	
8	RHフラットトゥーフインガーリバースエイト		RHフラットス						
8									
	L2番ランジ		6番 右足を左足にそろえる						
8	ネックラップ	LHフラットエイト		LHリバース RHグラブ		フラットス			
8									
	R3番で深く曲げる		R3番					Lターン(左足軸)	
8	フロントトゥーハンドB		ひざの後ろでバックパス		RHリバースエイトフロリッシュ				
8									
	Lルルベ		L3番プリエ	ジャンプ				Rルルベ	
8	サムトス&1スピン		キャッチ後面手をクロス		ポーズ		リバースアウトサイドループ		サリュート
8									
					Rルルベ			R3番	

# 緊急対策

## 1. 目的

大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限に軽減するために以下の緊急時対策をとる。

## 2. 予防体制

- (1) 各担当者は、それぞれのポジション内の整理については、特に注意し、不必要なものは置かないようにする。
- (2) 入場開始1時間前に、役員及び係員全員で、消防器所在などの会場内事情を確認するとともに不審物、危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしきものがあつた場合には、大会本部に各担当責任者を通じ連絡すること。
- (3) 開会30分前に再度確認する。

## 3. 緊急事態発生の場合

### (1) 火災発生の場合

- ① 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、体育館事務所・大会本部に連絡すること。
- ② 初期消火については、会場内所定の消火器の操作要領を、各担当責任者が関係係員に確認しておくこと。
- ③ 来場者の避難誘導については、体育館からの指示（放送）により、来場者を混乱させることなく、あらかじめ定めた通路を使って誘導を行う。

### (2) 地震の場合

- ① 来場者に対して、まず冷静に対処することを放送・ハンドマイクなどで呼びかけ、本部の状況判断を待ち、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行う。  
誘導にあたっては、体育館職員・各担当責任者の指示を受ける。

### (3) けが人・病人発生の場合

- ① けが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報し、その指示を受け、救護係員の到着を待つこと。
- ② 各担当者は本部に通報する。
- ③ 大会本部は、救護班に待機場所を通報し、必要がある場合は、大会本部より救急車の出動を要請する。
- ④ 救護所は、医務室に設置する。